

**FIFISH** P3  
UNDERWATER ROBOT

# クイックスタートガイドとメンテナンスガイド

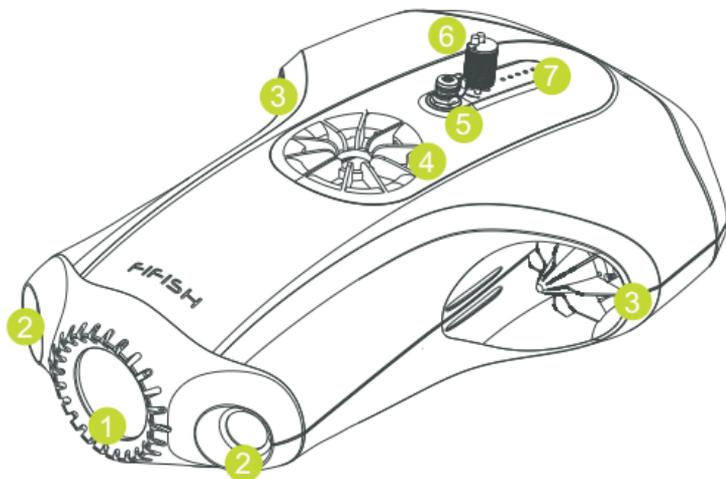
V1.1



## FIFISH P3を知る

FIFISH P3は水深メートルまでの潜行が可能で、淡水と海水の両環境に適応します。台（台が水平、台が垂直）の高効率のスラスターを装備し、前進、後退、左折、右折、浮上、潜航という6つの水中動作が可能であり、水面下で一定の深さ及び一定の方向の自動航行を実現できます。インチのCMOSセンサーと162度の超広角レンズを備え、2台、輝度が合計4000ルーメンのLEDライトを搭載し、4K Ultra HDビデオと2000万画素の写真を撮影可能です。リモコンで本体を操縦し、で高精細なリアルタイムビデオを見ることが出来ます。

FIFISH P3本体の説明は下記の通りです。

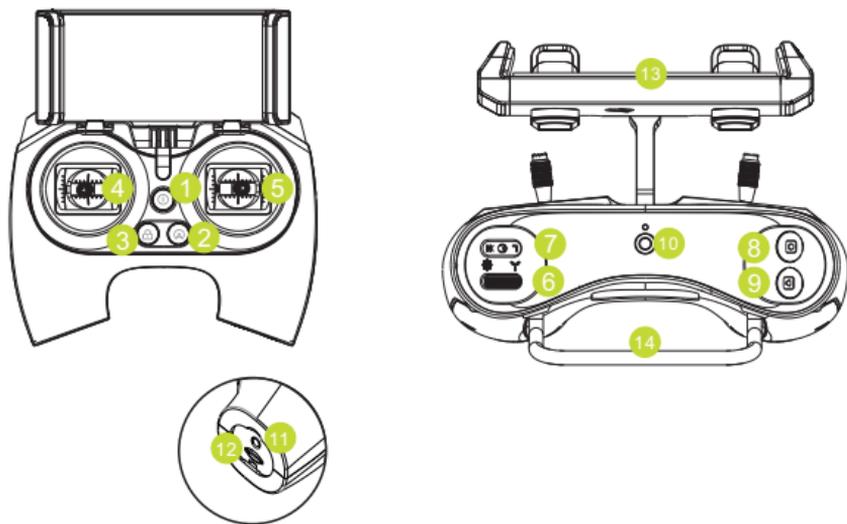


1. カメラ
2. LEDライト
3. 水平スラスター
4. 垂直スラスター
5. 通信ケーブル用コネクタ
6. ゼロ浮力通信ケーブル固定用スロット
7. バッテリー残量インジケータ

## リモコンを知る

FIFISH P3リモコンは、本体の挙動制御、スピード調整、照明調整、自動航行、ロックアンロック、撮影、録画などの操作ができます。

FIFISH P3コントローラーの説明は下記の通りです。

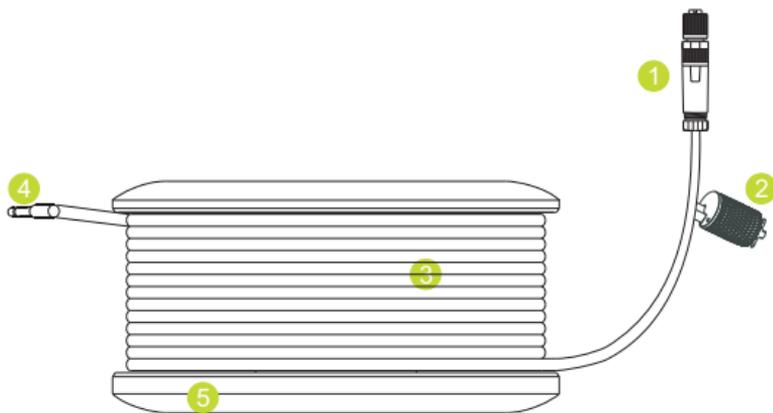


- 1.電源スイッチ 2.自動航行ボタン 3.ロックアンロック 4.左スティック 5.右スティック  
6.LEDライト輝度ノブ 7.ギアシフトノブ 8.撮影ボタン 9.録画ボタン  
10.通信ケーブルコネクタ 11.充電コネクタ 12.Micro SDカードスロット  
13.モバイル端末スタンド 14.リモコンノブ

## スプールを知る

FIFISHスプールは最大**200メートル**のゼロ浮力通信ケーブルを巻き取ることができ、操作中のケーブルマネジメントに便利です。

スプール本体の説明は次の通りです：



- 1.本体側インターフェース
- 2.リモコン側インターフェース
- 3.スプール
- 4.ゼロ浮力通信ケーブル
- 5.ゼロ浮力通信ケーブル固定用ブラケット

# FIFISH P3を使用する

## 1. FIFISH APPのダウンロード

方法1. モバイルデバイスを使用しアプリストアにて、あるいは下記コードをスキャンしてダウンロードしてください。



方法2. iOSのユーザは「」を検索してください。のユーザはGoogle Playから「」を検索してください。

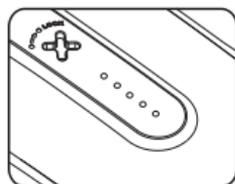
方法3. 弊社の公式サイトにアクセスしてダウンロードしてください。  
<http://www.qysea.com/support/appdownload>

## 2. バッテリー残量のチェック

本体バッテリー残量のチェック



ゼロ浮力通信ケーブルを接続します



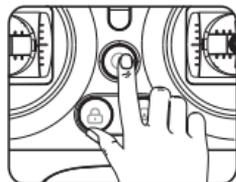
本体が自動的に起動し、バッテリー残量を表示されます



低…中…高

バッテリー残量は5つのランプによって表示されます。

コントローラーのバッテリー残量チェック



白色：70%以上



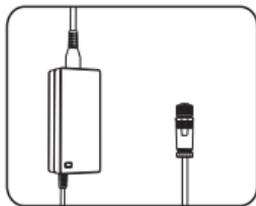
黄色：30%-70%



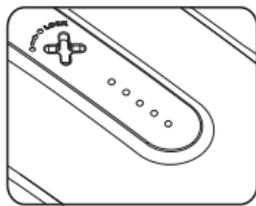
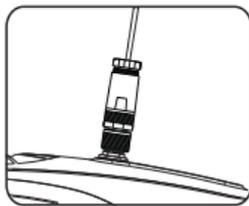
赤色：<30%

電源スイッチボタンを短く1秒間押すと、バッテリー残量が表示されます

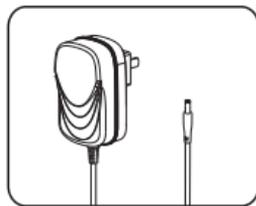
## 4.充電



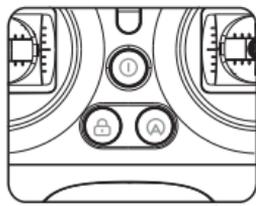
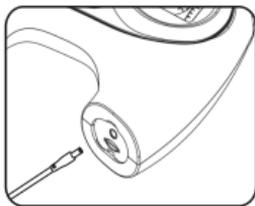
本体充電器



5電源ランプが常時点灯すると、充電完了したことを示します



コントローラー充電器



電源ボタンが常時点灯すると、充電完了を示します

## 4.準備完了します。

### 4.1.リモコンを使う前に

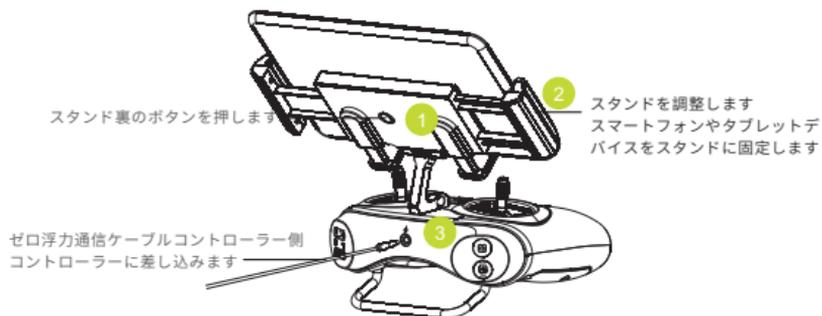


スタンドを広げます

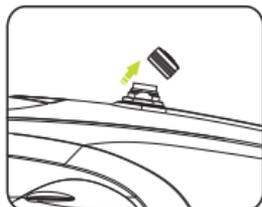


電源ボタンを3秒間押し続け、電源を入れます

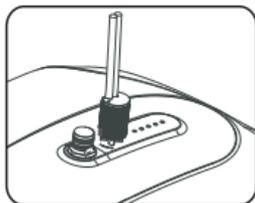
コントローラーの3つのボタンのランプが循環点滅すると、本体とコントローラーが接続していることを示します。



## 4.2.本体を起動します。



本体インターフェースカバーを開きます  
(コネクタ部の乾燥を保つよう注意)



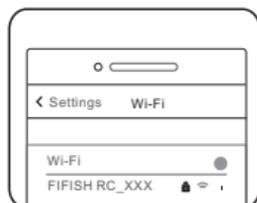
将ゼロ浮力通信ケーブル固定ブラ  
ケットをクロススロットに挿入し、押  
し下げ45度回し固定させますながら



ゼロ浮力通信ケーブルを接続すると、  
本体は自動的に起動します (コネク  
タ部の乾燥を保つことに注意)

コントローラーの電源ランプとロック/アンロックランプが常時点灯すると、接続が完了したことを示します。

## 4.3.APP接続



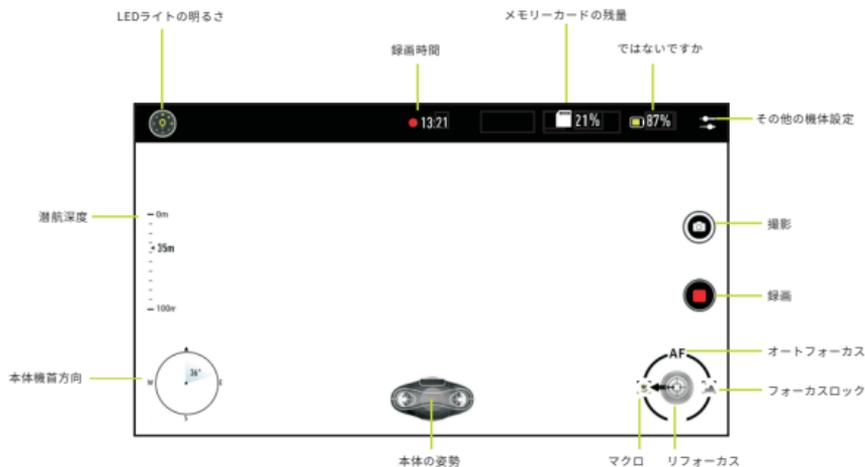
モバイルデバイスをコントローラのリWiFiに接続します  
ネットワーク名: FIFISH RC-XXX  
パスワード: 1234567890



APPを開き、「デバイス接続」をクリックしてセルフテストモードに入ります



セルフテストが成功したら、「撮影を始める」をクリックして航行を始めます

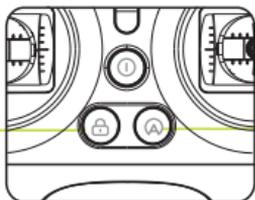


FIFISH APPデバイスコントロールページ機能紹介

## 5. リモート操縦機能

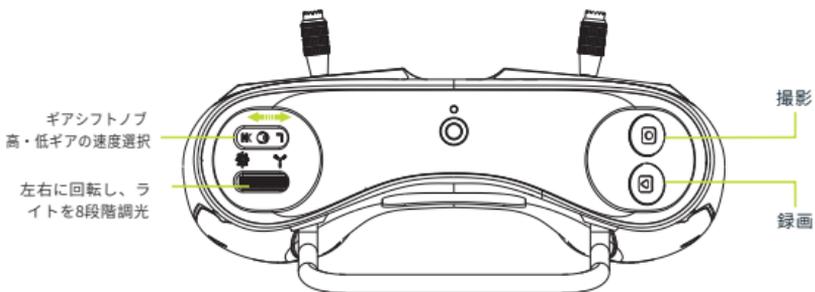
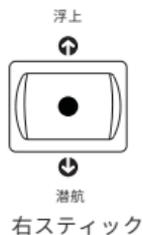
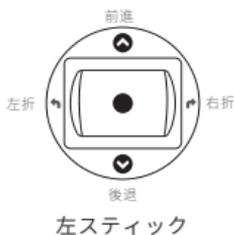
安全上の配慮：スラスターがデフォルトではロックの状態です。  
潜水後にアンロックさせることが可能です

押すと、ロックとアンロックの  
状態が切り替わります  
点灯：ロック消灯：アンロック



自動モード：  
自動キーを押すと、自動モードをオン/オフにできません  
点灯：自動モードに入ります。  
消灯：自動モードを終了します

リモコンで制御する



## 6. ビデオと写真のエクスポート

弊社のオフィシャルサイトには4K Ultra HDビデオと写真をエクスポートするカリキュラムを用意しております。  
下記のオフィシャルサイトをご参照ください。

[www.qysea.com/support/manual](http://www.qysea.com/support/manual)



航行の安全意識は、ユーザー、機械、他人、環境にとって非常に重要です。

『免費事項と安全操作ガイド』をよくお読みください。 ←ガイドの文書名に合わせてください

# メンテナンスについて

1. 毎回使用後に、淡水で本体を浸して洗い流し、風通しの良いところで乾かし、強い日差しを下げてください。本体上部のインターフェースの清潔と乾燥を保持し、カバーをしっかりと閉めてください。
2. 毎回使用後に、プロペラを点検し、異物が詰まったり絡まったりしていないことを確認してください。
3. 毎回航行後、ゼロ浮力通信ケーブル（特にクロスネジとプラグ）を淡水で浸して洗い流し、強い日差しから避けてください。
4. ゼロ浮力通信ケーブルを定期的に点検してください。特にプラグの接続部を確認してください。過度の摩耗や破損が発生した場合は、直ちに交換してください。
5. 電池の自己放電は、周囲環境の温度と湿度の影響を受けます。高温多湿の環境では、電池の自己放電が加速しますので、ボディを50°C～20°Cの乾燥した環境に置くことをお勧めします。
6. バッテリーの安定性を維持するために、長期間使用しない場合は、バッテリーを50%～60%の電量に充電し、3ヶ月以内に1回の充放電を実施して活性化させることをお勧めします。
7. 砂を除去する場合、淡水に本体を浸し、縦（ヘッドを下向きもしくは上向き）にして揺らすことで、本体に積んだ砂を洗浄して、砂を小さい穴から流すようにお勧めします。